

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平9-182771

(43)公開日 平成9年(1997)7月15日

(51)Int.Cl.<sup>6</sup>

A 6 1 H 7/00

識別記号

府内整理番号

F I

A 6 1 H 7/00

技術表示箇所

3 2 2 E

審査請求 未請求 請求項の数1 書面 (全3頁)

(21)出願番号 特願平7-354800

(22)出願日 平成7年(1995)12月28日

(71)出願人 591275067

有限会社クリーン・パック

東京都町田市南つくし野3丁目6番地9

(72)発明者 草野 彰宏

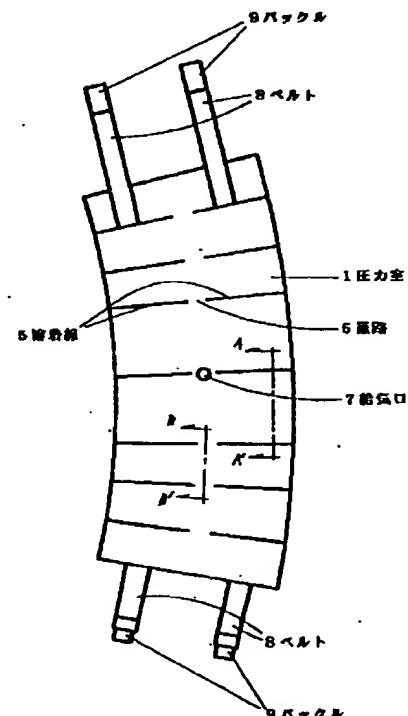
東京都町田市南つくし野3-6-9 有限  
会社クリーンパック内

(54)【発明の名称】 ふとももマッサージ器

(57)【要約】

【目的】 ふとももに効率的に空気圧によってマッサージすることを目的とする。

【構成】 通路で連接した空気室をベルト状に連接したものに、空気室より幅の狭いカバーを空気室に並列に溶着して内方への圧力を高めたもので、必要な箇所を重点的に加圧するため空気室の幅に差を付けてあり、端部には長さ調整および係止用のベルトとバックルが固定された構成となっている。



1

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 空気圧利用のマッサージ器において、複数の圧力室をベルト状に接続し、前記圧力室より幅の狭い外装材を圧力室にそれぞれ並列に縁部を除いて溶着したことを特徴とするふとももマッサージ器。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】本考案は柔軟性のある材料で作った空気室を、ベルト状に接続した空気室を設けたもので、ふとももに巻き付けてから空気室に空気を圧入してふとももを加圧しマッサージをするマッサージ器に関する。

## 【0002】

【従来の技術】柔軟な材質で作成した複数の圧力室をベルト状に接続したものを塩分を塗布したふとももに直接巻き付け空気を圧入して発汗を促進させふとももの余分な脂肪をとるというサウナ用のふともも用マッサージ器はある。この種のベルトは解放状態から緊迫状態へ緊迫状態から解放状態へと同じ動作を反復するものである。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】上記の圧力室を接続した形式のサウナ用の上記のベルトは、圧力室が一重構造なため、内方に膨張するとともに無駄に外方へも膨張し効果的に加圧し難い構成であった。またふとももに装着した場合、空気を圧入した場合、ふともも全周に均一に加圧され、必要な箇所に重点的に加圧できないという問題があった。

## 【0004】

【課題を解決するための手段】上記の課題を解決するために、本発明においては、接続した圧力室ごとに圧力室より短いカバーを並列に溶着して、空気を圧入した場合、圧力室外側の部材の伸びを抑え空気圧をふとももに向けて内方に膨張させ、また必要な箇所に重点的に加圧するために幅の異なる圧力室を設けた構成となっている。

## 【0005】

【作用】給気弁から空気を圧入すると圧力室は膨張してもカバーが外方への膨張を防ぎ内方へ加圧する。また圧力室の幅の大きい方がより大きな圧力を加える。

## 【0006】

【実施例】本発明を図面によって詳細に説明する。図1は本発明によるふとももマッサージ器の平面図である。図2は図1の平面図の縁分A-A'による部分断面図である。図3は図1の縁分B-B'による空気を圧入した場合の部分断面図である。

【0007】図1に示したように本ふとももマッサージ器は、ゴム、ビニール等の柔軟性のある材料で形成した3層構造である。外側部材3と内側部材4の縁部を溶着す

2

る。次ぎに図2に示すように圧力室1を形成する外側部材3および内側部材4より幅の狭い外装部材2を縁部を除いて溶着線5で溶着する。なお外装部材2の円弧部分は自由状態にある。圧力室は通路6で接続してある。圧力室の幅は加圧力に差をつけて重点的に加圧するため部分的に幅が広くしてある。マッサージ器のほぼ中央に逆止弁を備えた給気口7が溶着されている。一端と、その他端の一つ手前の溶着線5には係止用のベルト及びバックルが固定されていてふとももの太さに対応して長さを調整可能になっている。

【0008】上記のような構成をもつマッサージ器に空気を圧入する。図3及び図4に示したようにふとももの外周に巻き付けベルト及びバックルでやや緊迫状態に装着する。その状態で給気口から空気を圧入する。圧力室には空気が圧入され膨張する。しかし、外装カバー2は内側部材4及び外側部材3より幅が狭いため、外側部材3は外方に向かって十分に膨張しない。したがって、内側部材4が内方すなはちふとももに向かって膨張しふとももを加圧する。

【0009】幅の広い圧力室の方が幅の狭い圧力室より大きな加圧力をもっている。したがってより強い加圧が必要な部分に大きな圧力室をあてて加圧する。

【発明の効果】本発明は、ベルト状に接続した圧力室の外側に圧力室より幅の短いカバーをそれぞれ接着してあるので、空気を圧入しても外方に圧力が逃げにくく、ふともものある内方に膨張するので効率的に加圧が可能である。また圧力室の幅に差があるので、必要な箇所に重点的に加圧が可能である。

## 【図面の簡単な説明】

【図1】本発明のふとももマッサージ器の平面図である。

【図2】図1の縁分A-A'による部分断面図である。

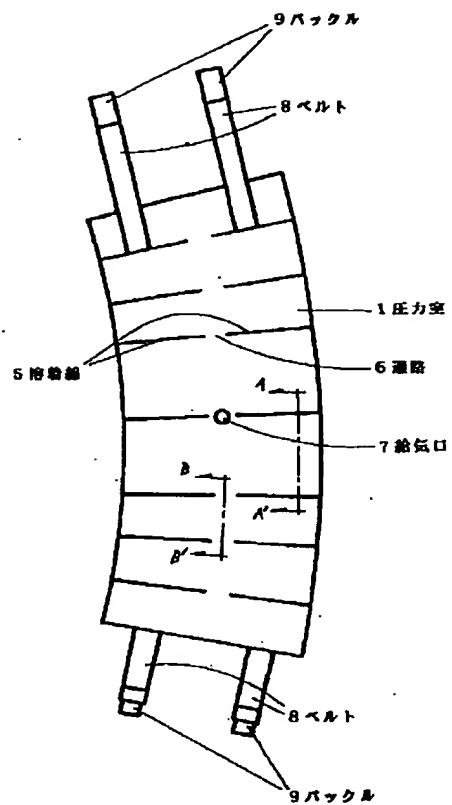
【図3】図1の縁分B-B'による部分断面図である。

【図4】本発明のふとももマッサージ器の装着説明図である。

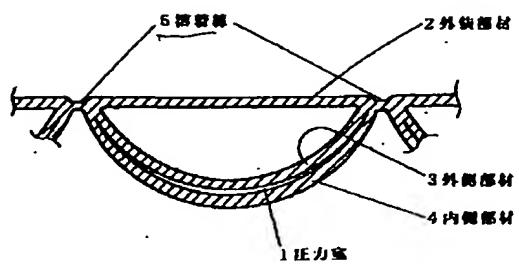
## 【符号の説明】

- 1 圧力室
- 2 外装部材
- 3 外側部材
- 4 内側部材
- 5 溶着線
- 6 通路
- 7 給気口
- 8 ベルト
- 9 バックル
- 10 ふともも
- 11 ふとももマッサージ器

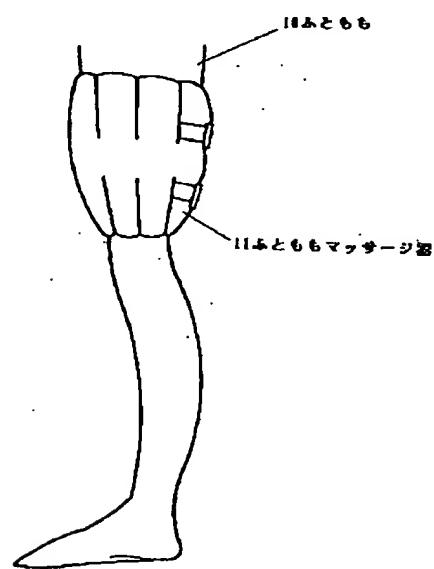
【図1】



【図2】



【図4】



【図3】

